

施策番号	0902		
施策名	観光都市としての質の向上		
概要	今ある魅力が守り育てられるとともに、新しい魅力が創出され、国籍、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、だれでも、いつでも、不満なく、安心・安全かつ快適に京都の魅力を堪能でき、また市民にとってもくらしやすい、さらに「質の高い観光都市」を目指す。		
担当局・部室	産業観光局・観光部	共管局・部室	
上位政策	9 観光		
施策に関する主な分野別計画等	未来・京都観光振興計画2010 ⁺ ⁵		

施策の評価

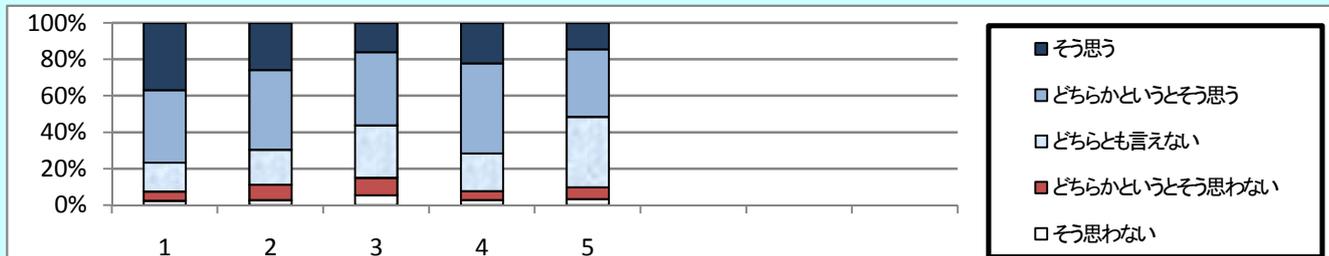
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					指標のウェイト
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	
1 再来訪希望度(%)	-	-	-	59.4	-	-	-	
2 市民のおもてなしを感じた観光客の割合(%)	-	-	-	12.0	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価							-	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 京都は、観光客にとって質の高い観光都市である。	202 36.9%	218 39.8%	87 15.9%	28 5.1%	13 2.4%	548	a
2 京都市民は、四季折々の京都観光を楽しんでいる。	152 25.9%	257 43.7%	113 19.2%	50 8.5%	16 2.7%	588	a
3 京都は、市民にとってくらしやすい観光都市である。	87 15.9%	220 40.3%	157 28.8%	52 9.5%	30 5.5%	546	b
4 京都市民は、観光客を温かく迎えるなど、京都観光の振興に協力的である。	120 22.2%	267 49.4%	112 20.7%	27 5.0%	15 2.8%	541	a
5 子ども連れの家族や若者、ビジネス客など、新たな京都ファンが増えている。	81 14.4%	208 37.1%	217 38.7%	36 6.4%	19 3.4%	561	b
市民生活実感調査総合評価							a



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					年度	-
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	-	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 観光客だけでなく市民にとっても満足度の高い観光振興を図ることを目的としており、市民生活実感評価を重視して評価することが妥当であると考えため。						年度	-
(原因分析) ・客観指標について、京都観光総合調査は、未来・京都観光振興計画2010 ⁺⁵ に基づく観光の質の向上を測ることなどのために平成22年度から開始したもので、前年度との比較による評価ができないため、今年度は評価を行っていない。 ・市民生活実感評価については、京都観光の「質の向上」に必要な受入環境の快適さ等が、市民にも認識されていることにより、a評価になったものと考えられる。 ・総合評価は、市民生活実感評価の結果により、A評価となった。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	京都観光オフィシャルサイト 京都観光Navi運営(旧観光文化情報システム)	31,487	32,467	かなり良い	産業観光局
2	観光案内標識充実整備	6,310	7,063	かなり良い	産業観光局
3	ぐるり界わい・観光案内標識のネットワーク化	8,183	-	普通	産業観光局
4	京都まちなか観光案内所の設置・運営	646	646	良い	産業観光局
5	京都えきなか観光案内所の設置・運営	2,585	2,473	かなり良い	産業観光局
6	京都総合観光案内所の運営	69,922	68,738	かなり良い	産業観光局
7	観光案内標識アップグレードプロジェクト	6,772	58,179	かなり悪い	産業観光局
8	市民による京都の魅力再発見	14,932	12,111	悪い	産業観光局
9	京都・花灯路	51,417	51,417	良い	産業観光局
10	時代祭・葵祭運営支援	14,364	14,395	普通	産業観光局
11	祇園祭宵山対策費	1,961	1,961	良い	産業観光局
12	花街伝統伎芸保存・育成	2,863	2,863	かなり良い	産業観光局
13	内容誘致宣伝	17,839	15,376	良い	産業観光局
14	岡崎桜回廊十石舟めぐり	1,263	1,263	良い	産業観光局
15	海外観光宣伝事業(国際誘推協, おこしやすプロジェクト, Kyoto Winter Special)	17,693	15,693	かなり良い	産業観光局
16	外客誘致宣伝	5,534	5,534	かなり良い	産業観光局
17	海外情報発信・収集拠点整備事業	21,194	21,194	かなり良い	産業観光局
18	千年の心得「Wisdom of Kyoto」	14,841	10,259	かなり良い	産業観光局
19	京の七夕	68,402	68,402	かなり良い	産業観光局
20	京都市観光協会50周年記念事業補助	13,236	-	かなり良い	産業観光局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・東日本大震災とそれに伴う原発事故により、京都観光は大きな影響を受け、震災直後に宿泊施設の状況が平年の5割から6割まで落ち込んだ。その後、平成23年6月からは回復の兆しを見せているものの、今後の観光景況を注視する必要がある。
・今ある魅力が守り育てられるとともに、新しい魅力が創出され、だれでも、いつでも、不満なく、安心・安全かつ快適に京都の魅力を堪能でき、また市民にとってもくらしやすい、さらに「質の高い観光都市」となるよう施策を実施していく。

施策名	0902	観光都市としての質の向上									
指標名	再来訪希望度 (%)										
担当課	観光企画課		連絡先	222-4130							
1 指標の説明											
京都観光総合調査における「再来訪を希望するか」という項目に7段階中7の評価「大変そう思う」と回答した観光客の割合											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
京都観光の「質の向上」に必要な受入環境の快適さを示す指標			出典：京都観光総合調査								
4 数値											
	前回数値 年度	最新数値 22年度	推移	目標値							
	数値	数値		根拠	達成度						
数値	-	59.4	-	前年度からの改善	-						
	全国順位	中長期目標			備考						
	数値	目標年次	達成度	根拠							
数値					<ul style="list-style-type: none"> ・京都観光総合調査は、平成22年度から始めたものであり、平成21年度の数値との比較ができないため、評価は次年度から行う。 ・数値の公表時期の関係により、評価は推計値で行い、前回数値については実数に修正する。 						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回することは不可能ではないため、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			23	-	-	-
		23									
-	-	-									

指標名	市民のおもてなしを感じた観光客の割合 (%)										
担当課	観光企画課		連絡先	222-4130							
1 指標の説明											
京都観光総合調査における「市民のおもてなしを感じた」という項目に7段階中7の評価「大変そう思う」と回答した観光客の割合											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
京都観光の「質の向上」を支える市民の存在感を示す指標			出典：京都観光総合調査								
4 数値											
	前回数値 年度	最新数値 年度	推移	目標値							
	数値	数値		根拠	達成度						
数値	-	12.0	-	前年度からの改善	-						
	全国順位	中長期目標			備考						
	数値	目標年次	達成度	根拠							
数値					<ul style="list-style-type: none"> ・京都観光総合調査は、平成22年度から始めたものであり、平成21年度の数値との比較ができないため、評価は次年度から行う。 ・数値の公表時期の関係により、評価は推計値で行い、前回数値については実数に修正する。 						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回することは不可能ではないため、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			23	-	-	-
		23									
-	-	-									